

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡市立東部療育センター			
○保護者評価実施期間	R 6 年 1 2 月 4 日		～	R 6 年 1 2 月 2 5 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	96	(回答者数)	65
○従業者評価実施期間	R 6 年 1 2 月 1 日		～	R 6 年 1 2 月 2 6 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数)	21
○事業者向け自己評価表作成日	R 7 年 1 月 3 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域住民の方々は、当センターへの関心が強く、地域に根差した事業運営が持ちやすい。特別支援学校や小・中学校が隣接しており、サポータ会議やコミュニティ連絡等で情報交換や情報共有が図りやすい地域である。	連絡会や地域の行事には必ず参加をするよう心掛け、地域で起きている情報収集し当センターができる協力を行っている。	更にセンター行事や保育参加を呼びかけ、子ども達の理解や関係を深められる様な内容を住民の方々の意見を聞きながら共に作り上げていく協賛をすすめる。 (業務増加にならない内容)
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な非常災害発生に備えた避難訓練等を職員や利用者と共にやっているが、保護者を巻き込んだ訓練は行われていない。	保護者と離れている日中に災害発生し避難後の流れ（保護者への連絡方法、お子様をお渡しする等）についての想定とその内容を保護者に周知がされていない。	様々な災害の想定を行い、保護者を交えた訓練を行う取り組みも必要である。
2			
3			